

平成23年 研究成果発表会について

企業支援部 技術支援グループ 小山内裕司

4月21日(木)に平成23年北海道森づくり研究成果発表会(木材利用部門)を旭川市民文化会館小ホール及び展示室を会場に開催しました。

口頭発表は、北海道の総合振興局・振興局森林室から3件、上川地域水平連携協議会から1件、林産試験場から6件(企業発表者との共同発表1件含む)の計10課題について行われました。

展示発表は、林産試験場17件(うち企業との共同出展3件)、北海道の総合振興局・振興局森林室3件の計20件のポスターや試作品、製品などの展示のほか、北海道水産林務部森林環境局森林活用課から、林業普及指導写真展や活躍する森林所有者の紹介などの展示がありました。

口頭発表では、終日多くの参加者に発表を聴いていただきました。各発表に対する質問や意見も多く出され関心の高さがうかがえました。また展示発表では開発製品の展示や実演も行われ、口頭発表者もパネル展示を行い、午前、午後各1回ずつの説明時間を中心に、他の展示発表者同様、参加者との活発な意見交換が行

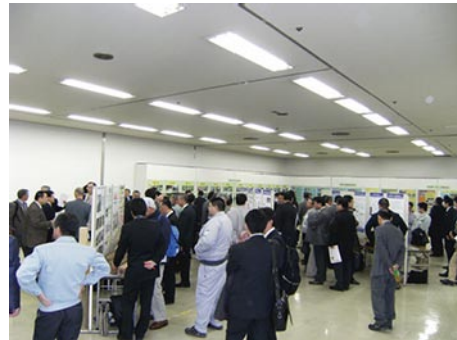
われていました。技術相談コーナーとして別に設けたフリースペースでは、直接、研究者との技術相談に利用していただきました。

270名の方々に参加していただきましたが、そのうち企業・団体からは約120名でした。今年は、東北地方を襲った大震災の影響による参加者の減少が懸念されましたが、ほぼ例年どおりの参加者数があったことから、林産業全体にわたる当場の技術支援に対する一層の期待と関心が業界の方々から寄せられているものと捉え、地方独立行政法人化され2年目を迎えた林産試験場として、復興に関わる支援体制も含め、さらなる業界への貢献を図っていく必要性を強く感じたところです。

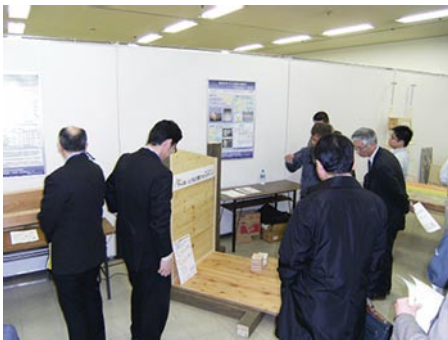
本特集号では、当日の口頭発表を記事にしてお伝えします。木材利用部門に相応しいそれぞれの発表をご一読いただき、参考にいただければ幸いです。なお、展示発表の内容についても、本誌6月号以降で紹介していく予定です。



口頭発表会場の様子



展示会場の様子



各種製品の展示



技術相談コーナーの利用